

令和 7 年度第 2 回 東京都在宅介護・医療協働推進部会主なご意見まとめ

● 令和 8 年 2 月 9 日（月曜日）開催

● 議 題

（１）令和 7 年度訪問看護推進総合事業の取組状況及び令和 8 年度予算案について

（２）令和 8 年度在宅療養推進に向けた都の取組（案）

（１）令和 7 年度訪問看護推進総合事業の取組状況及び令和 8 年度予算案について

<協働育成支援事業>

○ それぞれの地域での協力体制の強化という意味で、この支援事業を活用できれば。（災害時等、横のつながりが大切になると思う。）

○ テーマが“人材育成”だが、BCPや同行訪問で、中小の訪問看護ステーションが自社での訪問が難しくどうしようもない場合に、訪問看護の業務も協働して行えるような取組みも対象とできるとよい。（人手不足の際に、この同行訪問を利用して補完しあうことができれば）

○ それぞれの訪問看護ステーションが持つ得意分野を組み合わせることで、強みを生かすことができるのでは。

（２）令和 8 年度在宅療養推進に向けた都の取組（案）

<多職種連携ポータルサイトの運営>

○ ポータルサイトの仕組み等含めて、認知度が課題。

○ 介護情報基盤の整備に向けて、データ連携システムの活用が推奨されている。地域で看護、医療、介護を一括した情報システム（多職種連携システム）が重要で、医療と介護の連携を意識した仕組みづくりをしていったほうがいいのでは。

<入退院支援>

○ 情報不足が根底に大きくあり、地域連携がうまくいっていない。この事業を入り口として、多くのニーズがあるため、今後より充実させていきたい。

<在宅療養>

○ 一人暮らし人口が増えている中で、在宅療養という選択ができるよう、広報はもちろん、医療と介護の連携、取り組みをしっかりとやっていただきたい。

<管理者の教育>

○ 特に小規模なステーション等、質の低下がみられる。管理者の研修を教育ステーション含めてやっていかねばならない。数を増やすより、質のいいステーションをどう確保していくかが重要。

居宅サービス事業者及び介護予防サービス事業者の
指定について（6月分）

令和8年6月分の介護保険サービス提供事業者の指定を下記のとおり行いましたので
お知らせいたします。

今回指定した居宅（予防）サービス事業者一覧は別添のとおりです。

事業所の指定状況

	5月1日現在事業所数		6月1日指定		前月からの差分		6月1日現在事業所数	
	居宅	予防	居宅	予防	居宅	予防	居宅	予防
訪問介護	3,147		10		11		3,146	
訪問入浴	147	145			0	0	147	145
訪問看護ステーション	1,857	1,809	20	20	8	8	1,869	1,821
訪問リハビリテーション	77	73	0	0	3	3	74	70
通所介護	1,502		2		1		1,503	
通所リハビリテーション	42	41	0	0	1	1	41	40
短期入所生活介護	631	598	2	2	0	0	633	600
短期入所療養介護	2	2			0	0	2	2
特定施設入居者生活介護	934	837	1	0	0	0	935	837
福祉用具貸与	624	621			4	4	620	617
特定福祉用具販売	622	622			3	3	619	619
合計	9,585	4,748	35	22	31	19	9,589	4,751

※みなし指定の事業所数は除いてあります。

※平成27年4月1日より八王子市が中核市に移行したため、八王子市所在の事業所を除外して計上しています。

参考資料3

都内訪問看護ステーション・看護小規模多機能型・小規模多機能型 事業所数

令和8年6月1日現在

	区市町村	訪問看護 ステーション	看護小規模 多機能	小規模 多機能
1	千代田区	16	0	1
2	中央区	28	0	3
3	港区	43	1	6
4	新宿区	56	2	8
5	文京区	32	1	4
6	台東区	33	0	1
7	墨田区	41	2	7
8	江東区	50	0	4
9	品川区	48	2	10
10	目黒区	41	2	6
11	大田区	98	1	8
12	世田谷区	119	11	14
13	渋谷区	32	1	1
14	中野区	36	1	6
15	杉並区	75	3	10
16	豊島区	44	1	3
17	北区	39	1	3
18	荒川区	27	0	9
19	板橋区	90	3	12
20	練馬区	125	10	14
21	足立区	121	6	12
22	葛飾区	68	2	5
23	江戸川区	85	3	15
区部 計		1,347	53	162

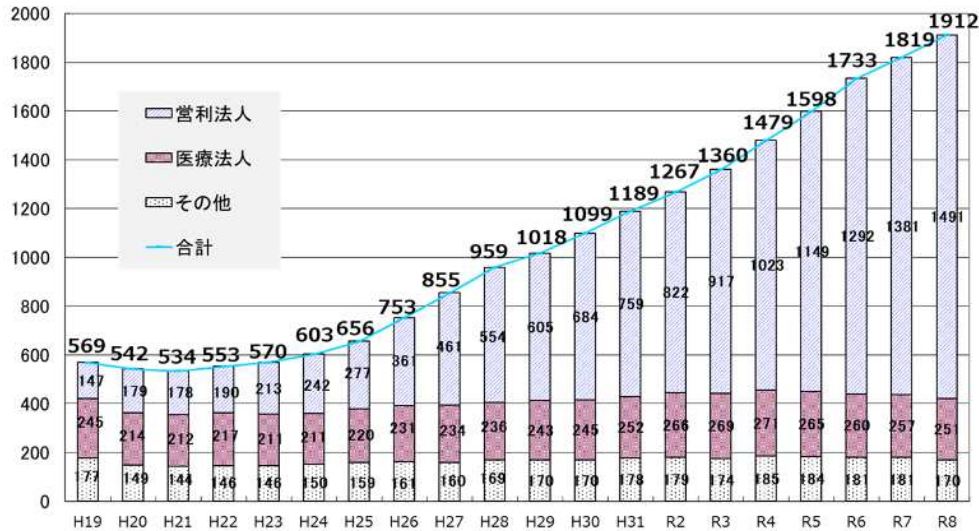
	区市町村	訪問看護 ステーション	看護小規模 多機能	小規模 多機能
24	八王子市	62	5	19
25	立川市	23	2	5
26	武蔵野市	28	2	0
27	三鷹市	21	1	3
28	青梅市	19	2	2
29	府中市	41	1	5
30	昭島市	18	0	1
31	調布市	35	2	1
32	町田市	81	3	5
33	小金井市	11	1	2
34	小平市	30	1	6
35	日野市	22	1	5
36	東村山市	20	3	3
37	国分寺市	22	0	5
38	国立市	12	1	1
39	福生市	7	0	0
40	狛江市	8	0	0
41	東大和市	7	1	1
42	清瀬市	14	1	0
43	東久留米市	11	1	3
44	武蔵村山市	8	0	1
45	多摩市	25	4	4
46	稲城市	8	3	2
47	羽村市	9	0	1
48	あきる野市	10	0	2
49	西東京市	23	2	3
市部 計		575	37	80

	区市町村	訪問看護 ステーション	看護小規模 多機能	小規模 多機能
50	瑞穂町	4	0	0
51	日の出町	2	0	2
52	檜原村	0	0	0
53	奥多摩村	0	0	0
54	大島町	0	0	0
55	利島村	0	0	0
56	新島村	1	0	0
57	神津島村	0	0	0
58	三宅村	1	0	0
59	御蔵島村	0	0	0
60	八丈町	1	0	0
61	青ヶ島村	0	0	0
62	小笠原村	0	0	0
町村部 計		9	0	2

都内 計	1,931	90	244
------	-------	----	-----

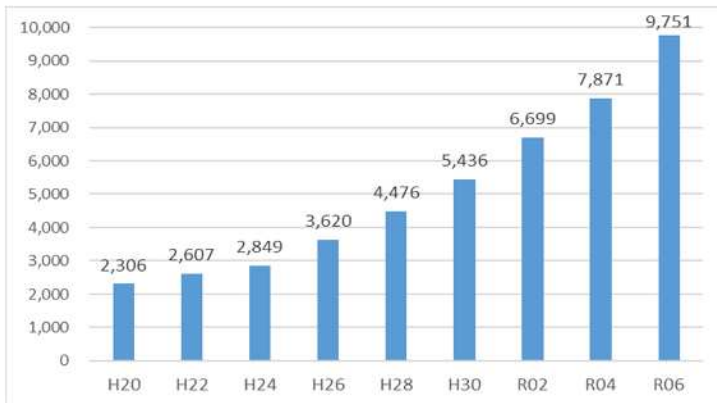
看多機未配置	5区	7市	13町村
--------	----	----	------

■ 訪問看護ステーション数の推移



(注) 各年4月1日現在の訪問看護ステーション数 ※八王子市含む
資料: 東京都福祉局高齢者施策推進部作成

■ 訪問看護ステーション従事看護職員数の推移(常勤換算)



東京都保健医療局医療政策部調べ(隔年)

■ 訪問看護(予防含む)サービス量の見込

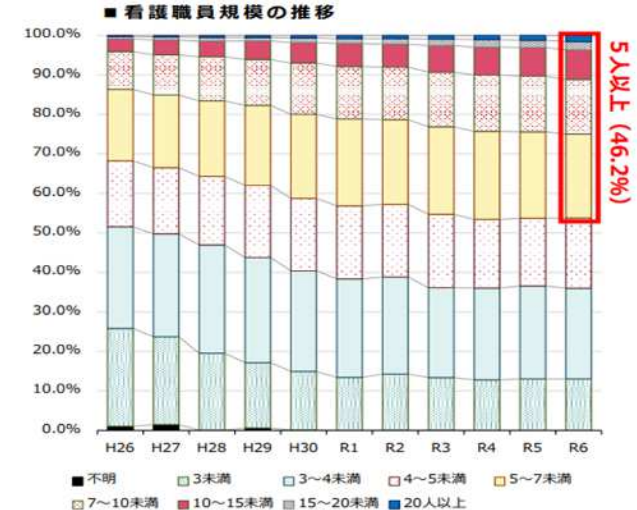
(万回/年)

R3年度実績	R4年度実績	R6年度見込み	R7年度見込み	R8年度見込み	R12年度見込み
1,117	1,174	1,336	1,382	1,426	1,523

出典: 第9期東京都高齢者保健福祉計画

○ 令和12年度には、令和3年度実績の約1.4倍のサービス量の増加が見込まれる

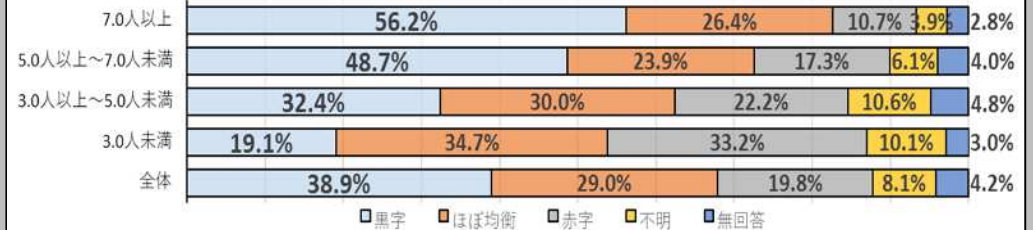
■ 看護職員数別(常勤換算)事業所割合



出典: 中央社会保険医療協議会第615回総会資料(令和7年8月27日)

○ 看護職員数の多いステーションの数は増加傾向にある。

■ 看護職員数(常勤換算)別収支状況

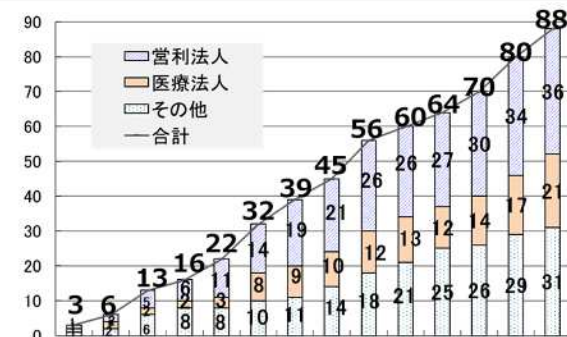


出典: 平成30年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金

「訪問看護事業所における看護師等の従業者数の規模別にみたサービスの実態に関する調査研究事業」

○ 規模が大きくなるほど収支は安定する傾向

■ 看護小規模多機能型居宅介護事業所数の推移



(注) 各年4月1日現在の看護小規模多機能型居宅介護事業所数

5区7市
13町村に
おいて未配置

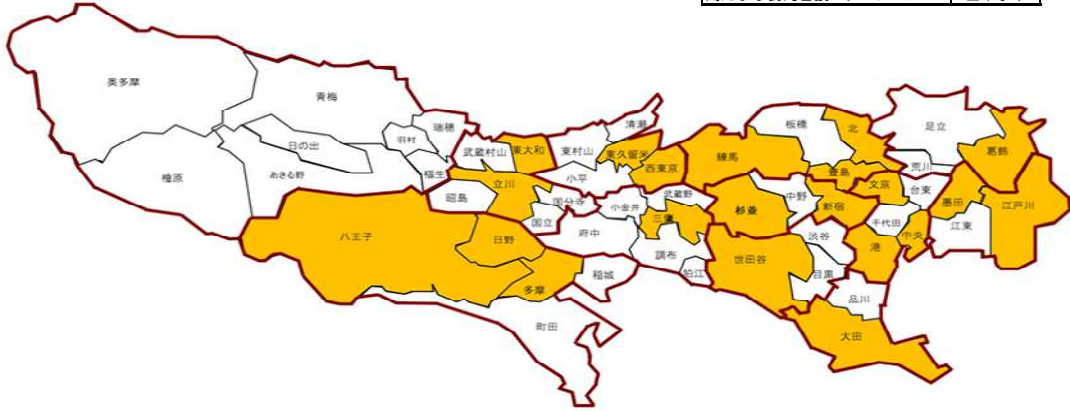
令和7年度地域における教育ステーション事業の実施状況

参考資料 5

■ 教育ステーション配置状況等

教育ステーション一覧（都内22ステーション）

教育ステーション	所在地	教育ステーション	所在地	教育ステーション	所在地
東京ひかりナースステーション	中央区	ソフィアメディ訪問看護ステーション成城	世田谷区	訪問看護ステーションとんぼ	八王子市
LCC訪問看護ステーション	港区	河北訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷	杉並区	訪問看護ステーション卵	立川市
白十字訪問看護ステーション	新宿区	セコムとしま訪問看護ステーション	豊島区	野村訪問看護ステーション	三鷹市
訪問看護ステーションけせら	文京区	あすか山訪問看護ステーション	北区	ラビオンナースステーション	日野市
訪問看護ステーションみけ	墨田区	東京都看護協会立城北看護ステーション	練馬区	訪問看護ステーション・青い空	東大和市
田園調布医師会立訪問看護ステーション	大田区	訪問看護ステーションはーと	葛飾区	東久留米白十字訪問看護ステーション	東久留米市
訪問看護ステーションけやき	世田谷区	船堀ホームナースにじ	江戸川区	あい訪問看護ステーション	多摩市
				陽だまり訪問看護ステーション	西東京市



■ 勉強会・交流会

各地域において、医療機関等との合同カンファレンスや訪問看護師、地域の看護職、多職種を対象とした勉強会等を実施

参加職種 ①訪問看護師、②医療関係者、
③介護関係者、④地域住民、⑤その他

<実績> 合計 118回 / 4,008人参加

ST	実施回数	主な勉強会テーマと参加職種（抜粋）	
		テーマ	参加職種
白十字	12	今、心不全ケアがなぜ必要なのか。～地域での連携を考えよう～	①②③
みけ	6	交流会② 災害時のロジスティックの課題	①
あすか山	7	第39回 北区ナーシングヘルスケアネット交流会	①②③⑤
ラビオン	7	専門医に聞く 在宅で暮らす難病 患者の課題と対応	①②③⑤
けやき	5	医療職のメンタルヘルス	①②⑤
河北	4	がん性疼痛のきほん その1	①②③⑤
はーと	6	第8回いのちを考える市民講座	①②③④⑤
野村	5	オピオイドの困難事例 ～がん性疼痛のコントロールについて考えてみよう～	①②
けせら	9	気持ちの良い排泄(便)を考える	①③
田園調布	3	自転車安全講習会	①②③
青い空	7	ALS勉強会	①③
東久留米	5	これからの多死社会における生き方・逝き方～私たちにできること～	①②③④⑤
城北	7	地域だからできる グリーフケアを深めよう	①②③⑤
ひかり	7	シンポジウム(支援困難とはなにか考える)	①②③④⑤
LCC	4	その人らしさを、もう一度～脳卒中に寄り添う在宅リハの実際～	①②③④
にじ	3	がん緩和ケア	①②
とんぼ	3	在宅の認知症支援	①②③
あい	11	地域包丘ケア共創ラボ	①②③⑤
成城	2	在宅における爪切り～お困りの爪の切り方教えます！～	①②③
としま	1	CVポート管理の基本	①
卵	1	子どもまんなか支援	②
陽だまり	2	ELNEC-J看護師教育プログラム（第1回目）	①

※上記の他、市部の8ST合同で、「～その一歩を踏み出してみませんか～訪問看護の世界」を実施（訪問看護師や看護学生などが参加）

■ 医療機関における訪問看護師研修

地域の医療機関と協同し、医療機関において訪問看護師が必要な技術等の習得のための研修の機会を提供

<実績（合計）>

研修受入機関数	参加人数
17医療機関	75人

<医療機関での研修内容（主なもの）>

【見学・体験】

○重症心身障害児・者に医療的ケアや支援を提供するための、知識・技術の習得

○緩和ケア

○看護技術トレーニング研修（静脈注射、導尿、膀胱留置カテーテル）、ストーマ外来見学、褥瘡予防対策や処置の見学

■ 訪問看護ステーション体験・研修

訪問看護師及び訪問看護に関心のある看護職を対象に、1日から5日程度のコースで、同行訪問や手技演習等の研修を実施

<実績> 合計 274人 / 延べ477日

ST名	白十字訪問看護ステーション	訪問看護ステーションみけ	あすか山訪問看護ステーション	ラビオン訪問看護ステーション	訪問看護ステーションけやき	河北訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷
計（人・延べ日数）	8人 24日	52人 58日	23人 33日	9人 22日	2人 4日	8人 23日

ST名	訪問看護ステーションはーと	野村訪問看護ステーション	訪問看護ステーションけせら	田園調布医師会立訪問看護ステーション	訪問看護ステーション・青い空	東久留米白十字訪問看護ステーション
計（人・延べ日数）	6人 11日	14人 33日	32人 38日	3人 5日	11人 27日	4人 9日

ST名	東京都看護協会立城北看護ステーション	東京ひかりナースステーション	LCC訪問看護ステーション	船堀ホームナースにじ	訪問看護ステーションとんぼ	あい訪問看護ステーション
計（人・延べ日数）	18人 38日	7人 11日	22人 30日	34人 43日	7人 40日	7人 18日

ST名	ソフィアメディ訪問看護ステーション成城	セコムとしま訪問看護ステーション	訪問看護ステーション卵	陽だまり訪問ステーション
計（人・延べ日数）	3人 6日	3人 3日	- -	1人 1日

■ 相談業務

地域の訪問看護ステーション管理者や、訪問看護師等からの相談に対する助言や情報提供を実施

<実績>
合計 296件（22教育ステーションの合計）

<主な相談内容>

訪問看護ステーションの運営や人材関係・地域との連携 など

地域における在宅療養体制の確保

【区市町村等への支援】

■区市町村在宅療養推進事業＜拡充＞【557, 263千円】＜補助率：10/10＞※4年目以降：1/2
地域における在宅療養体制の構築を図るため、区市町村が実施する以下の取組を支援

- 在宅医療と介護の提供体制の充実にに向けた先駆的な取組への支援
　　《例》病院救急車等を活用した搬送体制の確保、看取りに関する講演会やDVDによる普及啓発　等
- 切れ目のない在宅医療提供体制の構築や医療・介護関係者等への情報共有に対する支援
　　《例》・24時間の診療体制の確保、後方支援病床の確保、ICTを活用した情報共有・多職種連携
- 小児等在宅医療推進事業
- 在宅療養患者家族支援事業
　　《例》家族が行っているケアを代行する看護師等の派遣、仕事とケアの両立に向けた取組　等

○24時間診療体制推進事業＜新規＞

　　《例》地域のかかりつけ医が連携した24時間診療体制の確保、看護師等による夜間連携窓口の設置　等

○在宅医療D X推進事業＜新規＞

　　《例》ウェアラブルデバイス等を活用した継続的な健康観察、オンライン診療に関する仕組みの構築　等

■在宅療養環境整備支援事業（保健医療政策区市町村包括補助（選択：提案型））＜補助率：1/2＞
在宅医療・介護連携推進事業の事業内容ア～ウのPDCAサイクルに沿った取組に関して、地域支援事業交付金対象経費であるが、交付金を活用せず事業を実施する区市町村への支援

■在宅人工呼吸器使用者療養支援事業

（保健医療政策区市町村包括補助（選択：政策誘導型））　＜補助率：1/2＞
自家発電装置等について、人口25,000人当たり各補助対象品目1台を給付基準とし、それらを整備するために必要な費用について補助

■在宅療養普及事業（在宅療養体制づくり支援事業）＜新規＞【56,001千円（内数）】
各区市町村における在宅療養推進の取組の底上げを図るため、在宅療養に関するダッシュボードを作成するとともに、研修会を開催

■災害時在宅医療提供体制強化事業【28,353千円】

訪問診療を行う医療機関における災害対応力を強化するとともに、地域BCP策定等在宅医療における災害対応体制の構築に取り組む区市町村を支援

【医療機関への支援】

■在宅療養体制支援医療機関緊急整備事業＜新規＞【124,000千円】＜補助率：10/10＞

在宅医療を担う人材の確保・育成など、在宅療養において積極的役割を担う医療機関が実施する取組への補助を行うことにより、地域の在宅療養体制の構築を促進

【東京都医師会・地区医師会との連携】

■在宅療養研修事業【11,209千円】

- 多職種連携連絡会の運営　　○在宅療養推進研修（「在宅療養地域リーダー」の養成）
- 病院内での理解促進研修　　○病診連携研修（相互研修）　　○シンポジウムの開催

東京都在宅療養推進会議等の開催

■東京都在宅療養推進会議等の開催

- 多職種連携ポータルサイト検討部会、ACP推進部会、退院支援マニュアル改訂部会等の開催
- 地区医師会・区市町村在宅療養担当者連絡会の開催　等

■広域連携支援　・東京都地域医療構想調整会議、在宅療養ワーキンググループの開催

デジタル技術を活用した情報共有の充実

■東京都多職種連携ポータルサイトの運営【15,209千円】

デジタル技術を活用した情報共有のための共通ポータルサイトを運営し、地域の医療・介護関係者や医療機関間の広域的な連携（情報共有）を促進し、都における在宅療養推進体制の強化を図る

在宅療養生活への円滑な移行の促進

■入退院時連携強化事業【144,948千円】

医療機関における入退院支援に取り組む人材の育成や入退院時における地域との連携を一層強化
○入退院時連携強化研修

入院医療機関と地域の医療・介護関係者との連携・情報共有の一層の強化に向け、実践的な研修を実施
《対象》病院、診療所、訪問看護ST、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、老健施設　等

○入退院時連携支援事業＜補助率：1/2または3/4＞

医療機関の入退院支援体制の充実を図るため、入退院支援に取り組む人材の配置に伴う人件費を補助
《対象》200床未満の病院

■在宅療養研修事業《一部再掲》

- 病院内での理解促進研修　　○病診連携研修（相互研修）

医療・介護に関わる人材の確保・育成

■在宅療養研修事業《一部再掲》

- 在宅療養推進研修（「在宅療養地域リーダー」の養成）
- 病院内での理解促進研修　　○病診連携研修（相互研修）　　○シンポジウムの開催

■在宅医療参入促進事業　【9,385千円】

訪問診療等を実施していない中小病院と診療所の医師及び看護師等に対し、在宅医療に関する理解の促進を図るためのセミナー等を開催し、在宅医療への参入を促進

小児等在宅医療に対する取組

■小児等在宅医療推進研修事業【17,220千円】

診療所の医師や看護師向けの研修を実施することで、小児等在宅医療を担う人材を確保・育成
■小児等在宅医療推進事業《再掲》

ACPIに関する取組

■ACP推進事業【11,847千円】

都民の希望する医療・ケアを受けることができるよう、ACPに関する以下の取組を実施
①都民に対する普及啓発　②医療・介護関係者の実践力の向上

■都民の「生きる」を最後まで支える、医療・介護職のACP実践力の育成【33,000千円】

ACP実践に必要な情報を集約したWebサイトや、医療・介護職を対象とする協働学習の場を創り、医療・介護関係者のACP実践力の育成基盤を整備

在宅医療従事者の安全確保に関する取組

■在宅医療現場におけるハラスメント対策事業【48,633千円】

在宅医療の現場で医療従事者が患者やその家族から受けるハラスメントの対策に取り組み、医療従事者が安心して在宅医療に従事できるよう支援

看護小規模多機能型居宅介護 管理者・区市町村担当者合同連絡会

日時 令和 8 年 1 月 19 日 (月) 13:30~15:25

○開催方法： オンライン 又は 集合形式の併用（オンラインはMicrosoft Teams）

※ グループワーク参加希望者は集合に限ります

○対象者： ① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の管理者等
(東京都内の看多機及びその開設法人の職員に限ります。)

② 都内区市町村担当者

○開催場所： 東京都看護協会 研修室301

看護小規模多機能型居宅介護について理解を深めるとともに、事業所同士の情報共有を通し、関係者同士のネットワーク構築を支援するため、連絡会を開催いたします



時 間	プログラム	講 師
13:30~	開会あいさつ	東京都 福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課長 佐々木 慎吾
13:35~ 13:45	東京都における看多機の現状と補助事業等について	東京都 福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課 課長代理 岡安 未樹
13:45~ 13:55	看護小規模多機能型居宅介護事業者（法人向け）アンケートの結果について	
13:55~ 14:10	看看連携について	東京都看護協会 横山 孝子 常務理事
14:10~	休憩（10分間）	
14:20~ 15:00	グループワーク ①看多機の管理者等 * 看多機が抱える課題に関するグループディスカッションをしていただきます。 ②区市町村担当者 * 情報交換会及び看多機管理者への質疑応答	①各グループに分かれ、話し合いを進行 ②回答者 看護小規模多機能 ゆいなの森 管理者：香取 孝彦 氏
15:00~ 15:25	各グループによる発表と講評	各グループから発表後、講評 東京都看護協会 横山 孝子 常務理事
15:25	閉会	東京都

* 看多機の管理者等のグループと、区市町村担当者のグループに分かれます。

○申込方法： 下記申請フォームまたはQRコードからお申込みください。

<https://logoform.jp/form/tmgform/1249088>



○申込締切： **令和 7 年 12 月 19 日 (金)**

東京都福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課 介護医療連携推進担当 Tel: 03 (5000) 7560

応答の概要 アクティブ

応答

32



平均時間

06:49



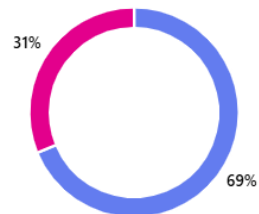
期間

105 日



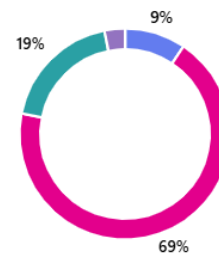
1. ご所属

- 看多機管理者等 22
- 区市町村担当者 10



2. 本連絡会の全体的な満足度を選択してください。

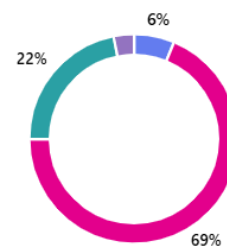
- 大変良かった 3
- 良かった 22
- あまり良くなかった 6
- 良くなかった 1



東京都における看多機の現状と補助事業等について

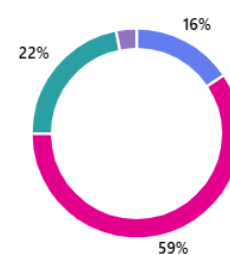
3. 分かりやすさ

- とても分かりやすい 2
- 分かりやすい 22
- やや分かりにくい 7
- 分かりにくい 1



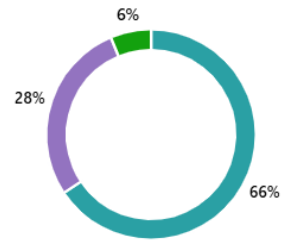
4. 参考になったか

- とても参考になった 5
- 参考になった 19
- あまり参考にならなかった 7
- 参考にならなかった 1



5. 時間の長さ

参考資料 8

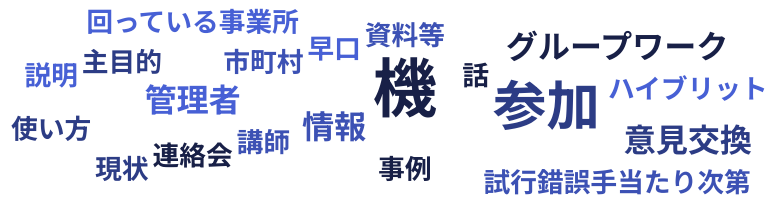


6. ご意見などありましたらご記入ください。

16
応答

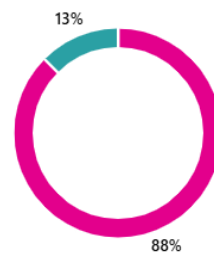
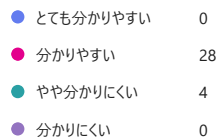
最新の回答
"新しい情報がなかった。"
"開設後の補助があるのであれば、適期的に事業所にお知らせしてほしいと思います。事務職..."
...

6回答者 (38%) この質問に 機回答しました。

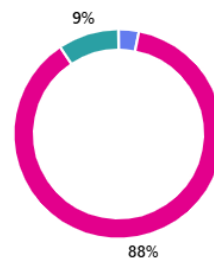
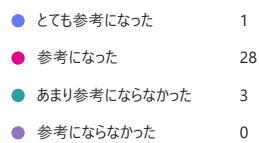


看護小規模多機能型居宅介護事業者（法人向け）アンケートの結果について

7. 分かりやすさ



8. 参考になったか



9. 時間の長さ

● 長い	0
● やや長い	0
● ちょうどよい	28
● やや短い	4
● 短い	0



10. ご意見などありましたらご記入ください。

5

応答

最新の回答

...

1回答者 (20%) この質問に 説明回答しました。

看多機さん
アンケート結果

有意義な場所
説明 管理者
トレンド

関わ
コメント
最近

看看連携について

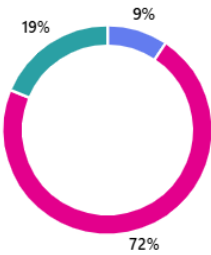
11. 分かりやすさ

● とても分かりやすい	3
● 分かりやすい	25
● やや分かりにくい	4
● 分かりにくい	0

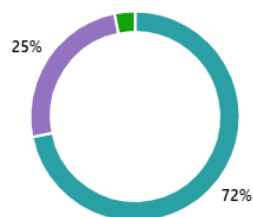


12. 参考になったか

● とても参考になった	3
● 参考になった	23
● あまり参考にならなかった	6
● 参考にならなかった	0



13. 時間の長さ



14. ご意見などありましたらご記入ください。

9

応答

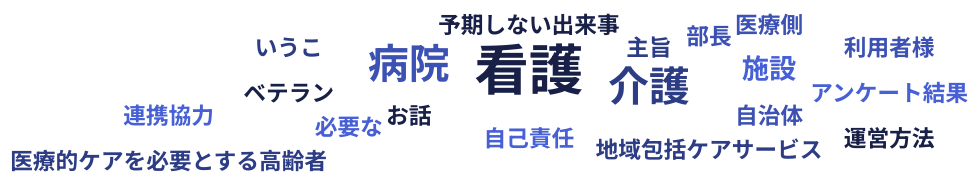
最新の回答

"看多機管理者は看護師でないこともあるので、テーマとして、どうか？"

"病院の看護職の方が、地域で働く看護職のほうが楽だ、働き方に自由度があると潜在的に..."

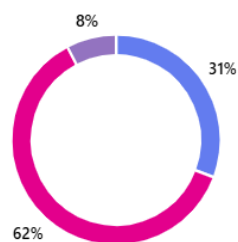
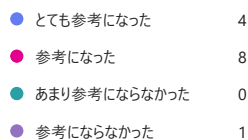
...

4回答者 (44%) この質問に 看護回答しました。

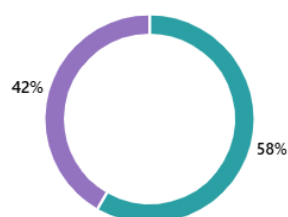


グループワーク

15. 参考になったか



16. 時間の長さ



17. ご意見などありましたらご記入ください。

8

応答

最新の回答

"毎年同じようなグループワークに意味があるか？"

...

1回答者 (13%) この質問に 同じ不安回答しました。

同じようなグループワーク
悩み多き部分 自治体 安堵 同じ不安 社 黒字化 意味
も同じ悩み 職員育成について

18. 今後、連絡会で話を聞きたい事業所や取り上げてほしいテーマなどあればご記入ください。

12

応答

最新の回答

"今回のグループワーク内で出た課題と解決策の公表"

...

3回答者 (25%) この質問に 所回答しました。

安定した黒字経営をしているところ
成功事例 ケアマネ 働きかけ 居宅 人 運営 参考 理解度 施設 紹介 利用者 所 看 多 機 病院 アンケート 話し合い 職員 認知度 申込書

19. その他ご意見等ございましたら、ご記入ください。

7

応答

最新の回答

"連絡会は必要なのか？"

...

1回答者 (14%) この質問に 管理者達回答しました。

応募がない等 登録 資格取得 区市町村 手順
んでいるこ 管理者達 機会 集合研修
連絡会 吸引

2 各プログラムについて

(1) 東京都における看多機の現状と補助事業等について

- ・ご意見欄に記載があったもの

職種	内容
事業所	グループワークをオンラインでも参加出来るようにしていただきたいと思います
	講師の方が早口で、何を言っているのか聞き取りづらかった。また、看多機の事例や使い方などの報告があっても良かったのではないかと思います。看多機は区市町村に一つだったりして、なかなか情報を共有できなく試行錯誤手当たり次第でやっている所も少なくないと思うので、うまく回っている事業所の話も聞きたかった。
	看多機の現状について知ることが出来ました。
	集合研修で他の管理者と意見交換できたのがとても良かった。
	ハイブリットは良いと思いました。参加して良かったです。重ねていくことが大切だと思います。
	補助金のことなど、もっと時間を割いて教えてもらえると良かったです。区市町村で違うこともあるから難しいとは思いますが。
	グループワークは楽しめました。看多機の管理者と意見交換は普段できなく、これでいいのかと悶々とすることも多いです。どこも似たような課題と分かっただけでも貴重な時間でした。
	グループワークで、他地区の管理者と意見交換できて学びになった。
	他区の看多機さんとの関わりはとても勉強になりました。
	開設後の補助があるのであれば、適期的に事業所にお知らせしてほしいと思います。事務職員の補助があるなら、事務員を雇うよう、運営側に交渉ができた。
区市町村	新しい情報がなかった。
	第2部が本連絡会の主目的だからかもしれないが、第1部のみの参加では、何の情報を得られたか、よくわからなかった。
	オンライン参加です。資料等は充実していましたが、ご説明が簡略であるように感じました。今後ともよろしくお願いいたします。
区市町村	重い利用が増えるほど経営が成り立たないということは、果たしてこのサービスを維持する方法があるのかと感じてしまう。看多機を今後も残すならば何か抜本的に変えなければならないと感じました。看護職(医療)に対しても看多機への理解を促す必要があると感じました

(2) 看護小規模多機能型居宅介護事業者（法人向け）アンケートの結果

- ・ご意見欄に記載があったもの

職種	内容
事業所	他の管理者と意見交換できたのがとても良かった。
	アンケート結果の意見が看多機の問題を全て表していると思いました。
	他区の看多機さんとの関わりについてとても勉強になりました。
区市町村	ご説明が簡略的に感じました。

(3) 看看連携について

- ・ご意見欄に記載があったもの

職種	内容
事業所	看護協会でも看多機をもう少しアピールし、病院ナースなどに周知して頂けたらと思います。
	地域包括ケアサービスにおいても利用者様が今後も住み慣れた地域で療養を継続できるようにしてゆかなければいけないとおもいました。アンケート結果とても参考になりました。
	他の施設の運営方法をもっと知りたかった。
	様々な意見が出たことは分かった
	病院の看護職の方が、地域で働く看護職の方が来た、働き方に自由度があると責任的に思っていることも連携がうまくいかない一因だと考えます。
	医師が隣にいない環境で、介護現場、地域現場での看護職は様々な医療的判断を求められます。
	日々の病棟勤務を回すだけで、多忙なのわかります 看多機管理者は看護師でないこともあるので、テーマとして、どうか？
区市町村	お話の主旨、自治体として何をお聞きすればよかったのか、よくわからなかった。
	看看連携について、介護に必要な看護と、病院の看護は違うとのこと。ベテランの看護師さんでも感じるということ、確かに母を介護していて、顎が外れて訪看の部長さんははめることができましたが、私がいるときに来られた、看護師さんは出来ず、YouTube見てもできず、最私が自己責任ではめたことがあります。一人で訪問しているときに予期しない出来事が起こると、なかなか続けるのが難しいと感じるかもしれないと思いました。
	医療的ケアを必要とする高齢者が今後も増えるなかで、医療側にも介護への理解と期待を持って連携協力が深まるようにしなければならぬと改めて思いました

(4) グループワーク

- ・ご意見欄に記載があったもの

職種	内容
事業所	ハイブリットは良いと思いました。参加して良かったです。重ねていくことが大切だと思います。
	グループワークで、他地区の管理者と意見交換できて学びになった。 管理者として同じ不安を持っている方がいて、共感を持てた。
	グループワークは楽しめました。看多機の管理者と意見交換は普段できなく、これでいいのかと悶々とすることも多いです。どこも似たような課題と分かっただけでも貴重な時間でした。
	意見交換できて、同じ不安や考えを持っている方が社外でもいることを知り、安堵や共感を持てた。看多機協会作ってみたいです。
	黒字化に向けてや、職員育成についてなど、どこも同じ悩みがあるので、トピックを先に上げた方が良かったと思いました。
	毎年同じようなグループワークに意味があるか？
区市町村	他の自治体の方と意見交換できたのは貴重でした。悩み多き部分なので、協力できればと思います。

3 今後の連絡会で取り上げてほしいテーマ等

職種	内容
事業所	運営の実際
	上手く運営できている事業所の実際の話
	他の事業所は、看多機の利用者を集めるためにどんなところにどのような営業をしているのか知りたい。
	ケアマネへの看多機の理解度や認知度を上げるにはどういう働きかけが必要か。
	皆さんたくさんのご意見がありました。
	看多機の成功事例が聞けると参考になります。
	安定した黒字経営をしているところや、職員が充実していたりする高事例の居宅での話し合いなどの意見を知りたいです。
	もっと、情報交換の時間が欲しかった。
	介護職員の吸引資格に関して
	今回のグループワーク内で出た課題と解決策の公表
区市町村	地域によって需要やニーズが異なる。23区内の事業所の話を知りたい。

4 その他

職種	内容
事業所	看多機の管理者達と交流する機会が欲しい。 管理者として困った時悩んでいることに関しての相談出来る窓口が欲しい
	今後も集合研修で意見交換できるようにして欲しい
	今日はありがとうございました。次年度もまたよろしくお願いします。
	吸引の資格取得や登録の手順が簡素化出来たらと思います。
	連絡会は必要なのか？
区市町村	資料を読み上げるだけだったので、もう少し内容を広げた話をしていただけると良かったと思いました。
	応募がない等の区市町村からの意見をお伝え頂きありがとうございました。